

学校外でも大活躍の日之影っ子たち！**【町小・中学校音楽祭 編】**

10月28日（金）、宮水小学校体育館におきまして、第46回学校と地域をつなぐ小・中学校音楽祭が開催されました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、児童生徒はマスク着用での発表とし、保護者の入場制限も行っての開催とはなりましたが、久しぶりに町内全小中学校の児童生徒が一堂に会して交流しました。

29名の日之影っ子たちは、大きな会場と大勢の来場者にとまどうことなく、合唱や合奏を堂々と披露しました。また、本校を卒業したお兄さん・お姉さんとの再会を懐かしんでいました。

また、「Atelier 奏（アトリエかなで）」公演もあり、プロの方々の美しい歌声やきれいな音色に触れる良い機会となりました。

**【町小・中学校作品展 編】**

音楽祭当日の午後、役場の町民多目的ホールで行われていた町小・中学校作品展を見学しました。たくさんの日之影っ子たちの作品が入賞していました。日頃の頑張りが結果として表れているのだと思いました。また、他校の人たちの優れた作品を鑑賞するよい機会となりました。

隣の小ホールでは、埋蔵文化財センターの「ふるさと埋蔵文化財移動展示会」が行われていました。町内で発掘された土器や矢尻なども展示されていて、日之影町に古くから人が暮らしていたという事実に触れ、歴史の古さを感じたひとときでした。

**【県民ボランティアの集い in 日之影 編】**

10月29日（土）、癒やしの森運動公園で県民ボランティアの集い in 日之影が行われ、本校の5・6年生も参加しました。本校では環境教育の一環として5・6年生が林業について学習しています。今回は、それを受けて植樹と苗木の配布に挑戦したものです。森林の大切さを実感しながら丁寧に植樹ができました。また、苗木の配布では、溪谷祭り会場に来られていた方に、育て方等の説明をしながら手渡すことができました。初めて会う方に対しても、笑顔で会話を交わすことができていると感心しました。



【ひのかげ溪谷まつり2022 編】

10月29日(土)に癒やしの森運動公園特設ステージで行われた「ひのかげ溪谷まつり2022」の中の日之影町青少年伝統芸能発表大会に、本校の3～6年生が出場しました。

3～4年生(7名)は、会長の赤星伸幸様を中心とする古園棒術保存会の皆様にご指導いただき、古園棒術を披露しました。長刀や棒の動かし方が難しかったのですが、本番では堂々と踊ることができました。



5～6年生(12名)は、会長の高見昭雄様を中心とする追川団七踊り保存会の皆様にご指導いただき、追川団七踊りを披露しました。扇子を持つ手首のしなやかな動きや鎖鎌・刀・なぎなたを持った3人の動きなどすばらしいものでした。



50年前の日之影のことを学びました !

11月2日(水)の朝の時間に、「やまびこトーク」が行われました。これは、日之影にゆかりのある大人の方々の生き様に触れさせることで、郷土愛を育みたいという思いからスタートした取組です。

久々に復活した「やまびこトーク」、本年度の第1回目は地域ネットワーク会会長で、地域学校協働活動推進員の田中省二さんから紹介していただきました竹之内康博様がお話をしてくださいました。

竹之内様は、今から50年ほど前、この日之影小学校に勤務されていた先生です。

現在、使用している校舎は当時のままであること、当時は400名以上の児童数だったこと、卒業生が町内のみならず、県内外で活躍されていることなどを話してくださいました。これらの話には、今は児童数の少ない学校になっているけれども、先輩たちの活躍を知って自信をもってほしいという思いが込められていました。

今は宮崎市にお住まいとのことですが、50年経った今でも、日之影っ子たちの新聞等での活躍をチェックしてエールを送ってくださる方がいらっしゃることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



